

# ＝ 祈りの絆 ＝

【お知らせ】4月より、災害対策本部は「東日本大震災被災地支援委員会（臨時委員会）」と改称し、現地支援委員会（臨時委員会）と共に連携して働きを進めていきます。連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。

<http://www.bapren.jp/>

## ■遠野ボランティアセンター

専任スタッフ・佐藤 浩

3月6～7日に東京女子大学の学生と花小金井教会、恵泉教会の青年が遠野ボランティアセンターを拠点としてボランティアに来てくださり、総勢18人で仮設訪問をしました。

6日は大槌町小銃第4仮設、7日は吉里吉里第2、3仮設のグループホームを訪問し、東京女子大のハンドベル演奏と青年のバイオリン演奏を聴いていただきました。皆さん音楽は大好きで、特に知っている曲だと顔がぱっと明るくなり、楽しそうに聞いてくださいます。その内の数曲を集まった皆さんと一緒に歌うことができました。しかし、本格的なハンドベルを生で聞くのは初めてという方がほとんどで、音の出し方や音色の奥深さに驚いておられました。

「さくらさくら」の演奏がはじまったとき、涙を流す方がいました。聞くと、その方の親友が桜の花がとて好きだった、でも親友は津波で亡くなったと話してくださいました。演奏の後は傾聴のときを持ちました。被災したときのこと、家族のこと、仮設住宅での生活のことなど、思い思いに孫のような年齢の学生さんに語っておられました。淡々と語られる、しかし重たい内容に返す言葉もなく涙を浮かべながら、真剣に耳を傾ける学生さんたち。しばらく共にすごし心が通じ合ったのか、終わりの時には学生たちは笑顔とともに「すばらしい演奏をありがとう。また来てね」という言葉をいただき、集会所を辞しました。この触れあいに、「ボランティアに来たのに逆に励まされた」という学生がたくさんいました。



◎学生ボランティアの方がたの働き

## ■現地支援担当報告

現地支援担当・金子千嘉世

2012年3月11日 いろいろな思いでこの時を過ごされたことと思います。3月10日、現地の諸教会伝道所は震災以後寄り添わせていただいた仮設住宅をお訪ねし、一緒に祈りの時をもたせていただいたり、お花やお饅頭をお届けすることができました。この日は、福島も宮城も雪が舞う一日でした。でもあの日を思うと寒さも気にならず、全国の皆様への祈りを届ける思いで、一軒一軒を訪ねさせていただきました。現地諸教会の3・11報告は、次回に発行される現地支援委員会からのニュースレターに掲載されますので、ぜひご覧ください。

1. 福島地区の子どもたち  
①福島の子どもたちin沖縄  
沖縄バプテスト連盟のお招きにより、福島地区の子どもたちは3月26日から4月1日にかけて郡山コスモス通り教会から子ども4人、引率2名、福島旭町教会より子ども8人、引率2名が沖縄連盟の子どもたちのキャンプに合流させていただきました。原発事故から1年たった今も、福島市内及び郡山市内共に、空間線量0.650、6.5マイクロシーベルトを計測しますが、0.6以上はレントゲン室と同じ放射能管理区域だと言われています。ですから、震災から一年、子どもたちは思いっきり外で遊ぶことができませんでした。「沖縄で思いっきり走り回っておいで！」そのような思いで送りだします。

2. 自主サークル支援  
各地の仮設住宅で編み物サークルが始まり、女性連合の「あいあいプロジェクト」と、北九州地方連合の青年会を通し、遠野、仙台北、郡山コスモス通り教会にたくさん毛糸が送られてきました。仮設の方がたの笑顔が思い浮かびます。本当にありがとうございました。今は編み物サークルに加え、パッチワークや小物を作ったり、ネクタイを裂いて作る裂織りサークルもできてきました。少し



◎寄せられた毛糸や編み棒

3. 募金へのご協力を感謝！  
2011年度は募金目標1億3千万円に対して、国内外から篤い祈りとともに1億5千万円を超える募金が寄せられ深く感謝しております（3月12日現在）。一方、活動支出は1月末で約8千万円となっています（いずれも下記参照）。  
災害対策本部では、2011年度の繰越金（約7千万円）のうち3千万円を2012～13年度の活動に取り崩して用い、4千万円は原発課題への継続的取り組みのために用いる予定です（昨年の第57回定期総会議案参照）。  
原発課題への対応では、例えば郡山コスモス通り教会の牧師館・教会修復と除染費用、福島旭町教会の教育活動（幼稚園と学童）支援、子ども2週間避難プロジェクトなど、現在分かっているだけで1千万円の費用を必要としています。

4. 予告  
新年度を迎えるにあたって、遠野ボランティアセンターをよりよく活用していただくために、募集要項を整え、また、募集した活動に対しては旅費補助も整えようと思えます。4月の初旬にはまとめたものを皆様にお届けいたします。

でも今の生活の中から喜びと生きがいを見つけていただくためにお手伝いできればと思います。布等の募集要項は女性連合のホームページをご覧ください。

## 東日本大震災被災地支援募金のお願い（4月1日から名称変更）

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※「東日本大震災被災地支援募金」と明記してください。

※募金は極力、教会単位でご送金ください。海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。

3月12日現在の募金総額 **153,233,393円**  
内、海外から74,572,708円が寄せられています

2011年度募金の目標総額は1億3000万円です。使途の目安は①被災教会・教会員へのお見舞い/教会建物支援（30%）、②被災地支援（50%）、③現地スタッフ/ボランティア活動費/事務局費（20%）として用いられます。

すでに目標額に達していますが、2013年度までの3年間で1億7000万円の募金目標総額が昨年の定期総会で決まりました。2011年度1億3000万円、12年度2000万円、13年度2000万円。4月以降もぜひ、本募金のためにご協力ください。

### ●活動支出の内訳（1月末まで）●

- ①被災地教会支援（建物修理、お見舞い他） 11,947,417円
  - ②被災地教会活動支援（支援車両、現地支援委員会を通しての被災地支援活動） 26,669,378円
  - ③被災地支援（連盟による支援活動、遠野センターなど） 28,768,477円
  - ④本部活動（スタッフ、事務・会議費など） 7,365,515円
  - ⑤海外・他団体との協働（三バプテストなど） 4,577,311円
  - ⑥その他（送金手数料など） 173,264円
- 合計 79,501,362円

### ●●●祈りの課題●●●

- ① 被災地の方がたの、震災から一年経ち再びよみがえってきた記憶の中での深い悲しみが治まり、落ち着いた生活ができるように。
- ② 現地支援委員会と東日本大震災被災地支援委員会とのよりよい連携ができるように。
- ③ 福島の子どもたちの命を守るプロジェクト(in沖縄、2週間避難プロジェクト)が実施されるように。